

公表

事業所における自己評価結果(回答5/5)

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスSHIP(放課後等デイサービス)		公表日		2025年12月16日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	安全が確保されている。 児発と放デイの二つに間仕切りがされているので、子どもたちの気が散らない。	今後、10人が一度に同じ部屋で活動すると少し狭く感じる事が予想される。部屋の使用方法など工夫していく必要がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5	0	こまめに職員間で連絡調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	その都度、改善している。 必要に応じて視覚的に分かるような表示を貼るなどの工夫をしている。 窓側には柵が置かれており安全の確保がされている。屋外への飛び出しを防ぐために各所に鍵の設置がされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日の整理整頓や清掃を行い、綺麗を保てるよう工夫している。 階段の仕切りやトイレリフォーム済み エアコンも新しく設置され活動がしやすい。 ゆくゆくフローリングにして、机やイスが置けるようになるといいと思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・子どもの様子や活動内容に合わせて部屋を分けるようにしている。 ・適宜、場所の使い方を工夫し、開放することができている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	こまめに会議をしている デジタル化が進んでおり、情報の共有ができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	随時意見などの共有を行うことができている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	話しやすい雰囲気がある。 定期的な面談や日々の事務所内で話す時間がある為、話せている。 職員会議はもちろん、常にコミュニケーションが取れて、共有されている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	随時研修案内の観覧が回っている。 日本特殊教育学会や療育研修に参加することが出来た。 情報の周知が常にある	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・時間をかけて作成し、ホームページに掲載をしている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	詳細に明記されていると思います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員全員で子どもの様子を話し合う時間を設けることができている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員間で共有し、計画に沿った支援が行えるよう工夫をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・よくできていると思う。 ・会議で設定し、共有がされている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・毎月会議で活動内容を話し合い、決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節や時期に合わせた活動を取り入れて楽しい活動を立案する工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・子どもの実態に合わせた計画になっている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼や活動前に流れなどの情報を共有することができている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・1日の終わりで振り返ることができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	細かく指導記録に記録することができている。 職員に共有されている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動の中で自己選択する場面を作りながら支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・子どもの事情を良く知る管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	うち合わせをこまめにしている。 真摯に向き合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会があるか。	4	1	・地域の大人との関わりはある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・ペアレントトレーニングを実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・プログラムやしおりを作成し、共有をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・適宜、公式LINEや送迎時、保護者相談会で助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0	・毎月保護者交流会を行ったり、行事等を通して保護者やきょうだいなどで交流する機会を設けることができた。 ・保護者参加行事や相談会がある。	保護者交流会を設けているが、参加する家庭に偏りがある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・相談、申し入れがあった際には職員間で周知し、適切に対応や連絡を取っている。 ・適宜、丁寧な対応がされている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・SHIP通信やSNSを活用している。 SNSの活用がとても良いと思います	

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・SNSなどでマニュアルを公開し家庭にも周知している。 ・策定し、ホームページに掲載、訓練を実施している。 訓練など、繰り返し行なっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・毎月訓練に取り組んでいる。 ・月一で必ず避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・発作や服薬の状況について把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・食物アレルギーの子どもは現在いない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・毎月ヒヤリハットの確認を職員間で行い、再発防止に努めている。 ・常に見られるよう記録している。 記録を残している		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・委員会を設置し、外部委員も設けている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・身体拘束をするような生徒はいない。		